

38

解題番號

軍人現況不明者調書

留守担当者 (所令年月日) 昭 才一〇持根 (才、七、三三)	氏	名	生年月日	入籍番號	現	住	所
	上曹	氏	名	生年月日	入籍番號	現	住
系族の承知してゐる情況 差出日附 部隊符號 (後係奉付イ、九、一、七) 受附年月日 檢閲者印 (梅野)	内容 〃 〃	提出年月日 情報提供者 同右現住所 本人とは 何處で何 時送つた か 其の時の 本人の狀 況 同部隊名	歸還者からの情報 年 月 日 部 隊 等 級 氏 名 入籍番號	死因 年月日 場所 戦死 二〇、八、二〇 日本海軍 海上自衛隊	徳島縣	内地出發年月日、場 所、乗船名(又は航 空機)行先 部隊長から何か 通知があつたか	

不詳

16 7

昭和二十一年八月一日

世 話 課 (科) 資 料 及 所 見	佐 人 資 料 處 置	其の他究明上参考となるべき事項	家族受領の情况及取扱経理部	昭和二十一年八月一日又は其の後に未復員届を出したか出してなければその理由	(右通知した人の住所氏名)	(白) 歸還者から何か通知があつたか (白) 其の他のどこから何か通知があつたか
息 消 の 人 本 の 後 の						
其の他究明上参考となるべき事項	本人の消息をよく知つてゐると思はれる者の住所氏名	作 業 月 日 収 容 場	行 逃 年 月 日 不 明 生 活 場 所	ばらばら 等	ばらばら 等	ばらばら 等

①  
昭和二十一年八月一日

46-10

死 亡 現 認 ( 確 ) 証 明 書

裏面記載上の注意を見て書いて下さい ( ※及び裏面の各欄は記載に及びません又書き方がわからない点がありましたら遠慮なく調査  
官に聞いて下さい )

死者の資料		死者の資料					死亡の状況及び参考資料		
遺骨及び遺物の処理	死亡区分	発病時	傷病名	死亡場所	死亡日時	現住所	本籍地	死亡当時の状況及び参考資料	
								死亡区分	死亡日時
遺骨及び遺物の処理 なし	死亡区分 不明	発病時 不明	傷病名 不明	死亡場所 不明	死亡日時 昭和二十九年九月十日	現住所 不明	本籍地 不明	死亡当時の状況及び参考資料 昭和二十九年九月十日、不明	
遺骨及び遺物の処理 不明	死亡区分 不明	発病時 不明	傷病名 不明	死亡場所 不明	死亡日時 不明	現住所 不明	本籍地 不明	死亡当時の状況及び参考資料 不明	

資料提供者  
法方つ知を亡死

死者との関係

現住地

階級氏名

不明

不明

不明

不明

所属部隊  
才二九魚雷  
調整班

所属部隊  
不明

地区局  
不明

兵種  
現

死亡の階級  
不明

氏名  
不明

年  
不明

月  
不明

日生  
不明



死亡現認(確)証明書

資者料資	死者の資者					現留守担当者	本籍地	所属部	固通有部		
	死亡諸元									区分	
死亡を知った方法	遺留品の処理	遺骨及び遺物の処理	死亡区分	発病時	傷病名	死亡場所	死亡日時	現住住所	本籍地	所属部	固通有部
			確	その終	なし	爆					
死亡者ととの関係						陸上				細部所属	
同班員			※甲	※	※	※甲	※甲			地区局	※
現住住所所属部			死亡当時の状況及び参考資料					種兵種役		氏名	
〆ニル更雷			<p>死亡当時の状況及び参考資料</p> <p>私は当時、事務係として、(口頭)で職務を遂行中、突如、眼前に爆風が押し寄せ、被弾し、胸部に重傷を負った。中隊発令後、この爆死した。翌日、同僚の報告により、この爆死した。同僚の報告によると、この爆死した。同僚の報告によると、この爆死した。</p> <p>爆死したのは四名である。その内訳は、〆ニル更雷、〆ニル更雷、〆ニル更雷、〆ニル更雷。このうち、〆ニル更雷は、この爆死した。同僚の報告によると、この爆死した。</p>					海(艦)		〆ニル更雷	
階級氏名								〆ニル更雷		〆ニル更雷	

官に開示(下りせ)

※及び裏面の各欄は記載に及びません。又書き方がわからない点がありましたら遠慮なく調査

# 元海軍軍人未処理者調書

(沖繩、大島用)

整理番號	(明) 210
留守担当者	所 (詳令年月日) 轄 和 (17.4.29) 和 (17.4.29)
職柄	水長
氏名	氏名
現住	生年月日 入籍番號
町字	縣 郡 町字 所地
所	縣 郡 町字 所地

## 家族の承知されてゐる情況

<p>本人からの最後の手紙に就いて御記入下さい</p> <p>内 容</p> <p>差出日附 (十和年四月二十九日)</p> <p>部隊符號 ( )</p> <p>受領年月日 ( ) 年 ( ) 月 ( ) 日 ( )</p> <p>検閲者印 ( )</p> <p>昭和十一年四月二十九日 小スニダ諸島バリー島</p>	<p>内 容</p> <p>以上ありましたらそれを書いて通知した人の住所氏名を書いて下さい</p> <p>其の他本人の情況を知る爲に参考になることを書いて下さい</p>
<p>内地出發年月日、場所、乗船名、行先がわかりますなら書いて下さい</p> <p>家族被受領の情況と取扱つてゐる整理部を書いて下さい</p>	<p>第三軍司令部 死傷者遺族者 道留島一諸 和二十一年五月一日 詳細十便りがアリシタ</p>

歸還者からの情報 (歸還者の方は本欄に未處理者個人に對することゝ、自分の歸じてゐた部隊の情報を記入して下さい)

未處理者個人に對する情報

情報提供者	部隊等級	氏名	入籍番號
同右現住所			

本人とは何處で何時から何時迄一緒にいたか又別れる時の本人の状況はどうかを記入して下さい

昭和十八年四月二十九日ヨリ二十年十二月十三日迄

戦死者でしたらその状況を本欄に記入して下さい  
 (死亡が病死なら病名を記入して下さい)

死亡原因 戦死  
 死亡年月日 昭和十八年十一月五日  
 死亡の場所 小笠原諸島バレー島  
 クイターアサトカ

行方不明か逃亡者ならばその状況を記入して下さい

原 因  
 年 月 日  
 場 所

他に本人の消息をよく知つてゐると思はれる方の住所氏名を記入して下さい

備考

歸還者の歸してゐた部隊の情報

この欄には所屬部隊の行動、戦闘状況(艦船事故ならその状況)を詳しく書いて下さい  
 (特に場所、年月日を洩らさない様にして下さい)

上記の歸還者 藤原三十二年二月一日復員在  
 水邊島明秋の遺骨と遺品五宇品復員  
 戸第二課出張所へ御展覧を承る由  
 三十二年七月五日遺骨品は自宅へ戻り遺骨  
 は米石屋に置く

昭和十八年十一月五日 戦死



元海軍軍属現況不明者調書

整理番號 78	送還元屬又は船名	身分	氏名	生年月日	本籍地(現住所)
	留守擔當者	名	稱	現住所	
既知事項	一、(1)遺骨有無( ) (2)遺留品有無( ) 定か遺言等ありは、 昭和二十一年七月五日 和洋年七月五日				
	飯運者からの情報			家族の承知している情況	
者供進情報	部隊	職名	氏名		
	現住所				
現職に就いた元屬	職名	配属部隊	氏名		
	採用の	年/月/日	場所	年	
者役	種別	志願(徴用)現地採用			
	死因	(軍務死は病名記入) 戦死			
ばら	服役年月日	昭和22年7月19日/時			
	服役時の状況	(便乗船名) シェワニツラ島北収容所			
て経験	共にいた期間及場所	自 年 月 日 場所 至 年 月 日 場所			
	推定状況	別れた後の推定状況			
ばら	本人と同一の行動をしたと思われる	部隊名	職名		
	出身地				
者不明	内地出發	年 月 日 場所	乗船名 便乗船名		
	現地に到着	年 月 日 場所	寄港地		
祝状の(離)隊部について	現職に就いた日(年)月				
	祝状の(離)隊部について				
世話課資料	世話課資料				
	及所見				
終分	右通知者の氏名				
	右通知者の住所				
終分	その他究明する事項	養父失調 昭和23年11月19日 シヤニツラ島北収容所			
	通知者の氏名	部隊長、飯運者、其他			
終分	通知者の住所				
	通知者の氏名				
終分	通知者の住所				
	通知者の氏名				

(註) (公) (不) (明) は佐復人で判定 (生) 及び復員は世話課で判定記入のこと

海軍二年...

[Redacted]

と云ふ... 昭和十九年二月十日

其の... 四月二十日 兵隊に...

同... 兵隊に...

同... 兵隊に...

同... 兵隊に...

同... 兵隊に...

同... 兵隊に...

同... 兵隊に...

同... 兵隊に...

同... 兵隊に...

同... 兵隊に...

同... 兵隊に...

同... 兵隊に...

同... 兵隊に...



の諸公は、  
に絶望を悔み居ました。本人は本館引揚一週間程前には  
ラリアに離れ、休養致し坐落身日は軽業中なりとの事、  
輸送船は木船に架越便舟は外航に吊るしとあるのみ、  
非常に危険極まるものなりと為り、夜中用便に舟を過す海中  
に轉落せし事、  
見よぬ所を航海中、  
諸公に申告は、  
点甚か遺憾に候、  
思推中候

昭和二十一年三月廿日  
海軍省  
現存所

佐

90

本籍地

現住所  
全石

所属部隊

入国年月  
昭和九年六月三

業級  
上水

内地退去年月

外地上昇年月

研究機関

疾病又受傷

行方又退却

死致者調査

調査完了上必要ありありあり  
該高嶺、必要事項を詳細に筆記入、上御送送下す



十五種砲

(砲員)

千毛ール島 (クーパーン)

銃種  
二國

兵種  
水兵科

入籍年月

112





死と確証の塔

確証有法行状表

今右等役の死に就ては、臨軍二等兵曹

一、死に就ては、臨軍二等兵曹

海軍一等兵曹

行状

第八警備隊 又下 (二十六特報)

一、死に就ては、臨軍二等兵曹

昭和二十一年四月一日 (一五七九)

一、死に就ては、臨軍二等兵曹

昭和二十一年十二月五日、演習中、死に就ては、臨軍二等兵曹

二十日、演習中、死に就ては、臨軍二等兵曹

一、死に就ては、臨軍二等兵曹

遺骨と遺物 和歌山縣三邊区 昭和二十一年五月十八日

遺骨以上遺物は、復員所事務室より引渡す。

# 愛知縣

内地出張年月日  
場所、乗船名  
又は船舶運送  
料名

本人からの  
最後の通信

田舎者  
家族の要否及此建り

大同形姓名

名前

家族の承知してある情況

帰還者かとの情報

現職

留守持當者

空

長

女

氏

石

姓

現

住

所

所  
（前分年月日）

算級氏

名

本

籍

地

軍人現況不明者調査

請求年月日  
昭和六年六月  
姓名  
入籍番号

前職持当者  
自任後所

家族との関係で  
何時迄に連絡する

乗空等による乗運水陸等九島新開空  
程に勤務せよと為りテニ於て以テ  
バマラリヤ街ニ在リ  
五七号府は變ツテ及變ニ取リテ五  
一門坊迄に拜会もウツテ

本籍の本人の  
現職



物持長が...

何の道相か...

又其の他...

其の道相した人の...

振込済

冊相受身八月...

年月受領

其の地長明ニ...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

7198

23

8月21日

31-12

2049

大坂藩官制氏名	海軍軍医工員	[Redacted]
備後守入公福(長子)	兵	[Redacted]
所屬艦船部隊名	安房郡船中二三〇部隊	(第一〇三海軍軍医隊)
天保二年八月日	昭和二十二年四月二十日	[Redacted]
天保二年所	シマノ島のケイイ市陸軍予備隊人共二八人	[Redacted]
天保二年所	イノナカノ中島船中(食糧共他)在籍全二八人	[Redacted]
本籍地	[Redacted]	[Redacted]
備後守入公福	[Redacted]	[Redacted]
備後守入公福	[Redacted]	[Redacted]
備後守入公福	[Redacted]	[Redacted]
備後守入公福	[Redacted]	[Redacted]
備後守入公福	[Redacted]	[Redacted]
備後守入公福	[Redacted]	[Redacted]

海軍軍医工員

29

海軍軍医工員

死亡証明書

生

右者昭和二十一年五月一日午後八時セレベス  
島マリンプン集團地区ニ於テ心臓麻痺ニ  
ニテ死シ昭和二十一年五月九日セレベス島  
マリンプン集團地区ニ埋葬ス

死因保港出帆期日昭和十九年四月

右確実ニ死セシ事ヲ証明ス

第三海洋丸船長

死歿者調書 八月八日

徳島地方支店  
第二徳島員

本籍地

現住所 右今

所属部隊 第二十二特別根拠地隊

入團年月

昭和十八年  
六月二十二日

役種

二十五既成銃員

兵種

水兵

等 級

海軍一等曹

職 名

大分縣 伍伯港

年 齢

三十二歳

科 地 別 着

昭和大分曹

職 名

大分縣 伍伯港

年 齢

三十二歳

勤務の概要

昭和大分曹 伍伯港 勤務中 昭和二十年六月十五日オーストラリア軍上陸  
向打中知ヤダル務中 終戦トナリ 收容所 同年九月十四日入行セタ

死因又は受傷年月日

昭和二十年九月十五日

病名又は傷名

脚氣

終戦後九月十五日ニシテ一水害所ニ入リ同月十四日ヨリヤ集結身休  
終戦同日高土被容所ニ送リ同所ニ在リシニシテ同月十四日ヨリヤ集結身休



死亡年月日 昭和二十一年八月九日  
 死亡場所 戦死  
 死亡原因 戦死  
 死亡時の状況 昭和二十一年八月九日 戦死  
 右の通承知してある事から申告せしめしむ

申請者	入籍番号	等級	海軍二等兵曹	氏名
申告者	本籍地			
の	現住所	右	令	
	所属部隊	第二十二特別根拠地隊		

備考  
 一本調書は死歿者の身上関係一切と處理するものである  
 から慎重に且つ詳細に記入し下さい  
 二他人から聞いて承知した事項は其の首末尾余白に記入し  
 下さい

パリッパに於て慰霊祭モ済ミ其靈ハ名古屋復員局ニ修メテ有リコト



死被者調査書

本籍地	現在所	所屬部隊	入團年月日	等級	年	外	職	病名	時	宮崎縣
[Redacted]	今	第三要南附	一〇.一〇.一	一等	北	一八.五.五	中	二六.五.二五	也	正
					海	同上	中			
					流	又				
					兵					
					籍					
					科					

原住地 宮崎県 一三 中 市 役 所 二七 区 命 藤 崎 湯 丸

宮崎縣

名の通 義志 十二月 八日

昭和二十五年 十二月 八日

甲 考 者	
入籍番号	等級 二 氏名
本籍地	
現住所	
所属部隊	第五 隊

備考

一本調査は死没者の身生関係一切を処理するものとする  
 奥書は且詳細に記入して下さい  
 二種人の間には義志した事項は其の旨末尾の餘白に  
 記入して下さい

# 軍人現況不明者調書

警視庁		(所) 詳今年月日 格		等 級		氏 名		生年 月 日		入籍 番 號		(本 現)		住 籍 所	
留守 擔 當 者		氏 名		職 柄		現 住 所		現 住 所		現 住 所		現 住 所		現 住 所	
家族の承知してゐる情況		提出年月日		提供年月日		情報提供者		同右現住所		(一)		(二)		(三)	
本人からの最後の通		遊出日附(不祥)		部隊符號(〇三三三九部隊)		受領年月日(二〇、五、三〇)		検閲者印( )		本人の何處で何時に何事か		本人の何時の時の		同部隊名	
内地出發年月日、場所、乗船名(又は航空機)他不明		死因		死日		死時		死時		死時		死時		死時	
(一) 部隊長から何か通知があつたか		死因		死日		死時		死時		死時		死時		死時	
(一) 部隊長から何か通知があつたか		死因		死日		死時		死時		死時		死時		死時	

103



<p>交 料 及 所 見</p>	<p>出 給 料</p>	<p>典の他宛明上参考と なるべき事項</p>	<p>取換新理部</p>	<p>昭和二十一年八月一日 日及び其の後は米復 員前と出したか 出してなければその 理由</p>
<p>昭和二十一年八月一日 日及び其の後は米復 員前と出したか 出してなければその 理由</p>		<p>昭和二十一年八月一日 日及び其の後は米復 員前と出したか 出してなければその 理由</p>	<p>昭和二十一年八月一日 日及び其の後は米復 員前と出したか 出してなければその 理由</p>	<p>昭和二十一年八月一日 日及び其の後は米復 員前と出したか 出してなければその 理由</p>
<p>昭和二十一年八月一日 日及び其の後は米復 員前と出したか 出してなければその 理由</p>		<p>昭和二十一年八月一日 日及び其の後は米復 員前と出したか 出してなければその 理由</p>	<p>昭和二十一年八月一日 日及び其の後は米復 員前と出したか 出してなければその 理由</p>	<p>昭和二十一年八月一日 日及び其の後は米復 員前と出したか 出してなければその 理由</p>

103-10

明

整理番號

夕

熊本縣

<p>部隊の行</p> <p>一、編成の時期及び場所（昭 年 月 日 於 ）  二、内地出撃の時期及び場所（昭 年 月 日 於 ）  三、進出要領</p>	<p>所屬部隊に關するもの</p> <p>昭和 年 月 日</p> <p>内地歸還年月日</p> <p>昭 年 月 日</p>	<p>情報</p> <p>昭 年 月 日</p> <p>内地歸還年月日</p> <p>昭 年 月 日</p>	<p>事</p> <p>三、家族（身寄）  孫 孫 孫</p>	<p>既</p> <p>一、佐世保人事  業務課資料</p> <p>知</p> <p>二、世語課（科）  資料</p>	<p>留守擔當者</p> <p>母</p>	<p>所轄（祥令年月日）</p> <p>昭 年 月 日</p> <p>等</p> <p>級</p> <p>氏</p>	<p>元海軍軍人現況不明者調書</p>
<p>一、本人とは何  處で何時迄一  緒にいたか  二、その時の本  人の状況</p> <p>昭和 年 月 日</p> <p>至昭和 年 月 日</p>	<p>現況不明者個人に關するもの</p> <p>昭和 年 月 日</p>	<p>氏名</p> <p>入籍番號</p> <p>現住所</p>	<p>吳局長作セニヤ系</p> <p>隊</p> <p>隊</p>	<p>一、(イ)遺(有)無(2/8/20大竹上連)</p> <p>(ロ)遺留品有無</p> <p>戰死(行方不明)の場所  (遺)行方不明年月日  戰死(行方不明)の原因  戰死(行方不明)時編入  された戦斗部隊名</p>	<p>現住所</p> <p>縣</p> <p>市町</p>	<p>生年月日</p> <p>入籍番號</p> <p>本籍地</p>	<p>昭和 年 月 日</p> <p>至昭和 年 月 日</p>

4

68-10



終 結 處 分	二 段 調 査 以 後 に お い て 報 告 の 入 手 し て い る 情 報	船 難 に よ り お こ し た 事 故		現 況 不 明 者 と 同 一 行 動 者 の 別 動		現 況 の 動 向
		個 便 乗 組	有 限 乗 組	八、歸還の状況	七、終戦後の状況	
(公)       (明)       (不)       (生)       夜 月 日 員	佐世保入事業終戦にて判定       世話課(科)にて判定 夜 月 日 員	一、艦船名 二、行先 三、行動の概要 (イ) 出港地及び年月日 ( ) (ロ) 寄港地及び年月日 ( ) 四、便乗者の所轄、軍人、軍属別員数 五、事故の原因及びその年月日 (空襲、潜水艦、砲撃) 六、事故発生時の位置及び被害の状況 七、救難の状況	(イ) 所在 (ロ) 傷病者数 (ハ) 傷病者数 (ニ) 集結又は收容地 (ヘ) 給食 (ホ) 衛生 (イ) 開始 (ロ) 最終 (ハ) 残留者	(イ) 所在 (ロ) 傷病者数 (ハ) 傷病者数 (ニ) 集結又は收容地 (ヘ) 給食 (ホ) 衛生 (イ) 開始 (ロ) 最終 (ハ) 残留者	(イ) 所在 (ロ) 傷病者数 (ハ) 傷病者数 (ニ) 集結又は收容地 (ヘ) 給食 (ホ) 衛生 (イ) 開始 (ロ) 最終 (ハ) 残留者	三、同部隊名 四、承知事項を 家族に通知有 無知らした その内容
		項考 その他 となる べき事 0/82 22 8 21	本人の 住所 氏名 知つて る者 の 氏名 縣 市郡 町大字	本人の 死亡 年月日 原因 昭和 年 月 日	本人の 死亡 年月日 原因 昭和 年 月 日 シヤワ痲皮	本人の 死亡 年月日 原因 昭和 年 月 日 マラリヤより結核となる



新

昭和十一年三月

死亡地所

（死亡原因）

（死亡原因）

致

死

全身火傷為原因にして死亡

右の通知を知しおぬますから申言致します

昭和十一年三月二十三日

印入

算 経 海軍歴記 六名

音 本籍地

音 現住所

の

や一四五治印隊才たニ糧食生差隊附

（署名）

（新）音ハ死後者の身上関係一切を處理するものとしてあるものと見做し

（新）音ハ死後者の身上関係一切を處理するものとしてあるものと見做し

46-10